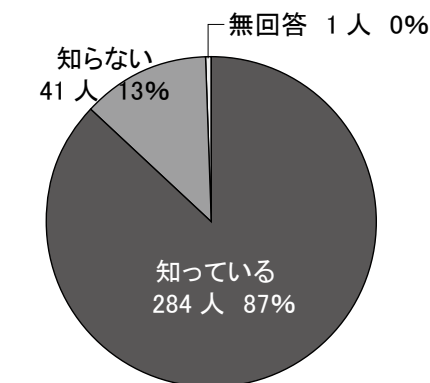


【特定健診について】

「特定健診を知っている」と答えた人は全体の87%。特定健診は平成20年度から実施しています。さらに住民の方に知ってもらえるよう広報していきます。



特定健診を知っていますか？

特定健診は知ってはいても、実際に受診するという人は65%。知っていても、なぜ受診しないのでしょうか？「たまたま受けていない」「必要な時はいつでも医療機関で受診できる」という回答をされた方が多くいました。特定健診は、生活習慣病で治療中であっても対象者となります。ぜひ受診してください。

特定健診を受診しない理由	回答数	割合
経済的に負担	8	8.2%
たまたま受けていない	25	25.6%
必要な時はいつでも医療機関で受診できる	19	19.4%
面倒だから	7	7.1%
検査に伴う苦痛などが不安	4	4.1%
時間がなかった	7	7.1%
まだそういう年齢ではない	1	1.0%
健診を知らなかった	1	1.0%
毎年受ける必要性を感じない	2	2.0%
結果が不安なため受けたくない	3	3.1%
かかりつけの医療機関では特定健診を受けることができない	6	6.1%
特定健診を受けなくても定期的に医療機関にかかっているから	15	15.3%
計	98	100%



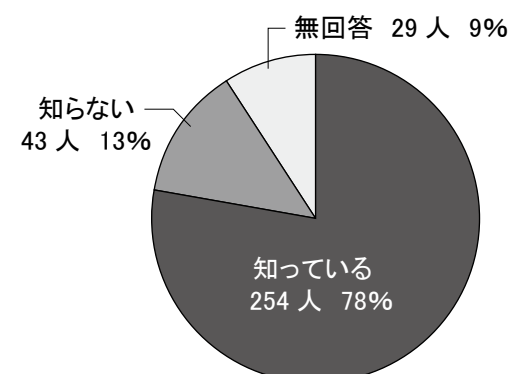
【がん検診について】

「がん検診を町が実施している」ことを知っている人は78%なのに、国民健康保険以外の人は受診できないと思っている人が多いことがわかりました。町が実施するがん検診は対象年齢の町民の方が対象となりますので、ぜひ受診してください。

未受診理由

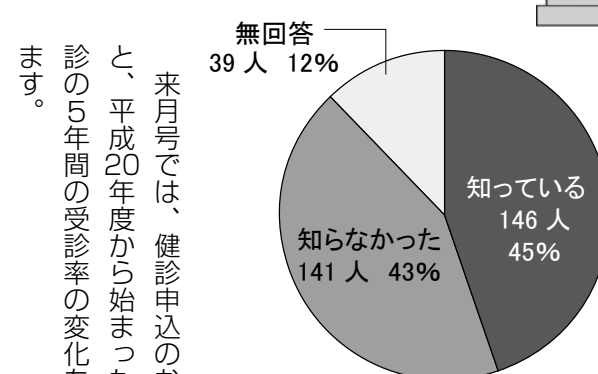
は特定健診と同じく「たまたま受けていない」「必要な時はいつでも医療機関で受診できる」という回答をされた方が多くいました。

また、検診で精密検査になって病院に行き、異常がないということになると二度手間になるので、それから最初から医療機関にかかりたいという意見もありました。がん検診も個別受診が可能なら受診するという人が54%、個別受診が可能になるように待っていますという意見もありました。



がん検診を町が実施していることを知っていますか？

がん検診は国保以外の方も受診できることを知っていますか？



来月号では、健診申込のお知らせと、平成20年度から始まった特定健診の5年間の受診率の変化を掲載します。

まちのできごと

大豊町公式facebookにも、町のできごとが掲載されていますので、ご覧ください。

地域伝統文化功労者表彰

3月1日、平成24年度地域伝統文化功労者表彰の表彰状伝達式が県庁で行われ、地域の伝統文化の保存・継承や振興に長年にわたり取り組んでこられた功績が認められ、永瀧神楽保存会顧問の北村守重さんが表彰されました。

昭和20年から永瀧神楽の保存伝承活動に参加し、永瀧神楽保存会の設立に尽力されるとともに、48年間にわたり会長を続けられ、永瀧神楽の保存伝承と振興の中心的役割を果たしてこられました。

現在も同顧問として後進の指導にあたられている北村さん。これからは神楽の保存・伝承のためがんばってください。永瀧神楽は、毎年旧暦の9月18日に行われます。



福寿草まつりフォトコンテスト



3月6日、第25回福寿草まつりフォトコンテストが行われ、香川県の久保初美さんの作品「春遠からじ」が最優秀賞に選ばれました。おめでとうございます！

立川分団合同火災想定訓練



3月3日、川口南で大豊町消防団立川分団と嶺北消防署が合同火災想定訓練を行いました。実践に近い訓練を行いさまざまな課題が見えたそうです。

4月23日は「子ども読書の日」

子どもたちにもっと本を!と言うことで2000年に4月23日は「子ども読書の日」と定められました。

そこで大豊町は4月22日～5月23日の「子どもの読書月間」に大豊町総合ふれあいセンターと大豊町農工センターの2か所で「恐竜」をテーマにした本の展示コーナーを行います。恐竜のあんなことや、こんなこと…!! 子どもから大人までわくわくするような本の展示をしますので、ぜひ子どもと一緒に読みに来ませんか？

本の楽しさに触れてみてください。

なお、展示本については貸出しができませんが、本を借りたい方はふれあいセンターの物流システムをご利用になるか、教育委員会までお声をおかけください。

問い合わせ先…大豊町教育委員会 ☎ 72-0458

